

課コード	001035	作成日	平成20年3月31日
所属名	高齢者福祉課	作成者	小石川 邦夫

政策名(上位目的)
高齢者福祉の推進
目の名称
老人福祉費

計画コード	分野	部	課	施策・事務事業		
	款	項	目	事項		
科目コード	11	01	31	36	00	00
(旧科目コード)	11	01	46	25	00	00
	11	01	46	27	00	00

事業名			戦略性
敬老支援事業(敬老祝金の贈呈)			
事業概要			
目的	(対象、意図、求められる結果)	開始年度	終了予定年度
高齢者に対し長寿を祝い、敬老思想の高揚を図るとともに、高齢者福祉の増進に寄与することを目的とする。		昭和 45 年	
活動内容			
敬老の日に、地域の自治会を通じ、敬老祝金を贈呈します。 年度内77歳到達者(10,000円)、年度内88歳到達者(30,000円)、年度内99歳到達者(50,000円)			
事業の性格分類		実施根拠(法令、条例等)	
義務的事業	任意的事業	浜松市敬老祝金の贈呈に関する内規	
事業運営方法		新市建設計画事業 ワークショップ提案事業	
直営	一部委託	全部委託	補助等

		H17年度決算	H18年度決算	H19年度最終予算	H20年度当初予算	H21年度計画額	H22年度計画額	前期4年間計
事業費(千円)		140,220	140,000	154,950	170,200			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	市債							
	受益者負担分(使用料等)							
	その他							
一般財源		140,220	140,000	154,950	170,200			
人件費		2,400	1,360	240	240			
内訳	人工	0.30	0.17	0.03	0.03			
	単価	8,000	8,000	8,000	8,000			
計	年間経費	142,620	141,360	155,190	170,440			
	受益者負担率	0	0	0	0			

性質別内訳		人件費	扶助費	公債費	物件費	維持補修	補助費等	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	投資の経費	公営企業
平成18	1,360						140,000						
19	240						154,950						
20	240						170,200						

定量評価							
指標1		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
祝金対象者数	目標	人	9,353	9,912	10,580	10,501	10,518
	実績	人	9,004				
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円	141,360	155,190	170,440		
単位当たり経費		千円/単位	16	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率		%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

指標2							
		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	人					
	実績	人					
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円	141,360	155,190	170,440		
単位当たり経費		千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率		%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

定性評価		
過年度の実施内容		
<p>【敬老祝金近年の変遷】</p> <p>H11: 70歳以上一律3,000円</p> <p>H12: 年度内70歳到達者3,000円、年度内77歳到達者10,000円、年度内88歳到達者30,000円、年度内99歳到達者50,000円</p> <p>H17: 年度内70歳到達者3,000円の祝金廃止</p>		
事前評価	必要性	(分析・理由)
	A	<p>A 高い</p> <p>B ↑</p> <p>C ↓</p> <p>D 低い</p> <p>地域社会での敬老思想の高揚を図るとともに、高齢者の社会参加の推進や生きがい対策の充実のための意義があり、また高齢者福祉の増進に寄与するため必要な事業です。</p>
事前評価	行政関与の妥当性	(分析・理由)
	B	<p>A 高い</p> <p>B ↑</p> <p>C ↓</p> <p>D 低い</p> <p>高齢者の長寿を地域全体の中で祝うことで、高齢者が地域の一員であるとの自覚が生まれ、社会参加や生きがいにも通じるため、引き続き自治会主催また自治会連携の事業といたします。</p>
事後評価	有効性	(分析・理由)
	A	<p>A 非常に有効</p> <p>B やや有効</p> <p>C あまり有効でない</p> <p>D 有効でない</p> <p>地域社会での敬老思想の高揚を図るとともに、高齢者の社会参加の推進や生きがい対策の充実のための意義があるため、高齢者福祉の増進に非常に重要な役割を果たしています。</p>
事後評価	効率性	(分析・理由)
	B	<p>A 単位当たり経費が前年比マイナス</p> <p>B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ</p> <p>C 単位当たり経費が前年比プラス</p> <p>D 評価できない</p> <p>祝金対象者が増加しそれに伴い対象事業経費も増加しているため、単位当たりの経費の変動はありません。</p>
今後の事業展開		
規模		(分析・理由)
現状	<p>拡大・充実</p> <p>現状のまま継続</p> <p>縮小</p> <p>廃止</p>	<p>高齢者福祉の増進に寄与しているものであり今後も継続していくことが必要ですが、対象者の増加による財政負担増が予想されます。</p>
具体的な改善内容・事業の方向性等		
<p>77歳、88歳、99歳の方に贈呈している敬老祝金について、平均寿命が年々延びるなど制度発足時とは状況が変化していることを踏まえ、対象者のあり方を検討する必要がある。</p> <p>(問題意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進展に伴って贈呈対象者数が年々増加しており、事業費も増大している。 ・国や本市における平均寿命が年々延びている。 <p>(想定結果) 市の実施が適当だが改善を要するもの</p>		
(備考) 事業に対する市民・市民活動団体・事業者・議会からの指摘		